STEP 1. 外部プリンタ接続に必要なものを用意する

濁度計関係: 2100Q/2100Q IS ポータブル濁度計
 2100Q用 USB+電源モジュール(LZV813)



2100Q/2100Q IS ポータブル濁度計

2100Q用 USB+電源モジュール (LZV813)

● プリンター関係: DPU-S445 サーマルプリンタ(セイコーインスツル製) DPU-S445用 ACアダプタ DPU-S445用 電源ケーブル



DPU-S445 サーマルプリンタ

DPU-S445用 ACアダプタ



DPU-S445用 電源ケーブル



<u> 注意事項</u>

本操作の前に、濁度計2100Qの電源がOFFになっていることを確認してください

電源を入れた状態で操作を行うと、機器の動作不良や故障の原因となる恐れがあります

<u>濁度計の用意</u>

- 2100Qのモジュールカバーを取り外します
- 2100QにUSB/電源モジュールを取り付けます
- 2100QのUSB/電源モジュールに、2100Q専用ACアダプタを接続し、電源に接続します



モジュールカバーを取り外して



USB/電源モジュールを取り付ける



USB/電源モジュールに2100Q専用ACアダプタを接続し、電源に接続する

<u>プリンタの用意</u>

- プリンタ専用ACアダプタに、プリンタ専用電源コードを接続します
- プリンタに、専用ACアダプタを接続します
- 電源コードを電源に接続します



2100Qとプリンタの接続

- 2100Qに取り付けたUSB/電源モジュールに、USB A⇔B変換コネクタを接続します
- USB A⇔B変換コネクタにUSBケーブルを接続します
- USBケーブルをプリンタに接続します



STEP 3. プリンタおよび濁度計2100Qを起動する

- はじめに、プリンタの電源を入れます
- 次に、濁度計2100Qの電源を入れます

※必ずプリンタの電源を先に入れてください

STEP 4. プリンタ設定内容を確認する

- プリンタのPOWERキーとFEEDキーを同時に押し、POWERランプが点灯したら、POWERキー⇒FEEDキーの順に指を離すと プリンタ設定内容一覧が印字されます
- Character Set(言語設定)が『IBM Compatible』になっていることを確認します
- Character Set(言語設定)が『ANK(カタカナ)』になっている場合は、プリンタの取説の「スイッチ操作による機能設定」 に沿って、言語設定を『IBM Compatible』に変更してください

[プリンタ設定内容印字例(2100Q用設定内容)]

```
DPU-S445
[ Ver 2.02 ] 27.Feb.2015
Copyright(C) : SII
*********
* DIP SWITCH 1 *
1..3)Data Input
                 : Serial / USB
    Baud Rate
                 : 115200 bps
4)
    Bit Length
                 : 8 bits
5..6)Parity
                 : None
Stop Bit
                 : 1 bit
8)
   Data Control : Busy
* DIP SWITCH 2 *
1..2)Data Input Mode : Serial / USB
3)
   Auto Loading : Enable
   Character Set : IBM Compatible 〈二 ANK(カタカナ)になっている場合は、
4)
   Auto Power Off: Disable
5)
                                     プリンタ取説に従い「IBM Compatible」に変更します
6)
   Font Size
                : 24 dots
7)
    Kanji Code
                 : JIS Code
8)
    Auto Status Output : Disable
* DIP SWITCH 3 *
1..2)Paper Mode
                : Roll Paper
3..5)Paper Select : TF50KS-E2D
6..7)Print Density : 100 %
* DIP SWITCH 4 *
    Auto Activation by AC: Enable
1)
2)
    CTS Control : Enable
5)
   Mark Position Correct: Disable
                 : Busy
6)
    Error
8)
    Bluetooth Link Key : Enable
* DIP SWITCH 10 *
1)
    Inquiry Response: Always
    Auto Connection: Disable
2)
* CG INFORMATION : JAPANESE GOTHIC
* TEST PRINT *
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRS
TUVWXYZ[¥]^_'abcdefghijklmnopgrstuvwxyz{{}}~Çüéāäàåçê
ëèïîìÄÅÉæÆôöòúùÿÖÜ¢£¥RfáíóúňŇag¿⊢¬½¼;«»∥┤╡╢╖╕╣║╗╝
╜╛┑└┵┯┝╌┼╞╟╚╔╩╦╠═╬╧╨╤╥╙╘╒╓╫╪┘┌╢┉╢┟╜αβГѫ∑ơμҳΦθΩδ∞⋪⋲⋂≡
±≥≤ſJ÷≈°×−∫°²∎
```

STEP 5. 保存データを印刷する		
└/ OK 濁度 III II I	 データ管理 データログの表示 データログの削除 データログの送信 自動印刷 	⊳
校正確認オプション 測定	終了 ◆ 選択	
トップ画面	フォルダキーを押して『データログの送信』を選択	します
		➡
<u>テータ検案設定(印孝テータ校り込み設定)</u> <u> 一 データ検索</u> <u> データタイプ: すべてのログ</u> 間隔: すべてのログ サンプルID: オフ オペレータID: オフ	データタイプ: 印字するデータの種類を設定します 間隔: 印字するデータの範囲を設定します サンプルID: 印字データをサンプルIDで絞り込みま オペレータID: 印字データをサンプルIDで絞り込みま	ます ます
● 除了		

データタイプ選択画面

 データタイプで検索 すべてのログ ログの測定 校正ログ 校正確認ログ 	すべてのログ: ログの測定: 校正ログ: 校正確認ログ:	測定/校正/校正確認データをすべて印字します 測定データのみ印字します 校正データのみ印字します 校正確認データのみ印字します
キャンセル ♦ ок		

間隔設定画面

2	間隔で検索
9	すべてのログ
C	前回の測定
C	選択された日
C	選択された週
C	選択された月
÷	

すべてのロ グ :	すべての日付のデータを印字
前回の測定:	直近の測定データを1件印字します(校正ログは無効)
選択された日:	本日分のデータを印字します
選択された週:	今週分のデータを印字します
選択された月:	今月分のデータを印字します

STEP 6. 自動印刷を設定する(測定や校正のたびに自動で印刷されるように設定する)

☑ OK 濁度 IIIID ♣ NTU	 	管理
16:17:50 2017-11-21		5240
校正確認 オブション 測定 トッノ回回	 ● ◆ フォルダキーを押して『自	目動印刷』を選択します
 CD データの自動印刷 ☑ ログの測定 ☑ 校正ログ ☑ 校正確認ログ 	ログの測定: 一測定ごと 校正ログ: 校正を行う 校正確認ログ: 校正確認な	に、測定データを自動印字すします と、校正データを自動印字します を行うと、確認データを自動印字します
解除	せたい内容を選択し、『OK』 で保存します	
 データ管理 データログの表示 データログの削除 データログの送信 自動印刷 		

『終了』を押して、測定画面に戻ります 設定内容に応じて、測定/校正/校正確認を行うたびに、自動で印刷されます

終了 ◆ 選択

付属資料:データ印字例

● 保存データ印字例

2100Q S/N:12020C015983 ソフトウェア バージョン: 1.01

2017-11-21 15:54:14	0.06	NTU
🖉 OK : StablCal®		
2017-11-21 15:52:31 🖉 OK : StablCal®	798	NTU
2017-11-21 15:52:18 🖉 OK : StabiCal ®	98.4	NTU
2017-11-21 15:52:04 🖉 OK : StabiCal ®	19.8	NTU
2017-11-21 15:51:39 / OK : StablCal®	10.8	NTU

保存データを印字した場合は、

- ・装置の型式
- ・シリアル番号
- ・印刷日

2017-11-21 15:55:07

・装置のソフトウェアバージョン

などの情報が冒頭に印字されます

測定値の右側には測定モードが記載されます

- ・空欄 : 通常モード
- ・ ●
 ・ ▼
 ・ ▼
 × 平均化モード

● 校正データ印字例

21000 S ソフト	ウェ ア /	015983 『ージョン: 1.01		2017-11-21	16:15:18
2017-11	-21 14:35:	27		∠ 校正:	StablCal®
標準1	20 NTU	20.4 NTU	標準2	100 NTU	104 NTU
標準3	800 NTU	810 NTU			

● 自動印字例(通常モード)

2017-11-21 15:59:45	0.06 NTU
🖉 OK : StablCal®	
2017-11-21 15:59:53 ∠ OK : StablCal®	10.7 NTU
2017-11-21 16:00:03 ∠ OK : StablCal®	19.7 NTU
2017-11-21 16:00:15 ∠ OK : StablCalØ	99.1 NTU
2017-11-21 16:00:26 ∠ OK : StablCal®	801 NTU

測定値の右側には測定モードが記載されます

- ・空欄 : 通常モード
- ・ ●
 ・ ▼
 ・ ▼
 ・ ▼
 ジョン
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下
 ・ 下

● 自動印字例(RSTモード)

2017-11-21 16:03:02	0.06 NTU	0	RST: 平均値です
🖉 OK : StablCal®			
2017-11-21 16:05:12	10.5 NTU	⊙	RST: 平均値です
🖉 OK : StablCal®			
2017-11-21 16:07:59	19.6 NTU	⊙	RST: 平均値です
🖉 OK : StablCal®			
2017-11-21 16:10:12	97.8 NTU	0	RST: 平均値です
🖉 OK : StablCal®			
2017-11-21 16:12:21	796 NTU	0	RST: 平均値です
🖉 OK : StablCal®			

● 自動印字例(平均化モード)

2017-11-21 15:56:45 ∠ OK : StablCal®	0.06	NTU	X	
2017-11-21 15:57:18 🖉 OK : StabiCal®	10.8	NTU	X	
2017-11-21 15:57:40 🖉 OK : StablCal®	20.1	NTU	X	
2017-11-21 15:58:01	100	NTU	X	
2017-11-21 15:58:22 OK : StablCal®	791	NTU	X	